

施工段階		受電		8	設備工事：	シート番号 8-1
電気	空調	衛生	その他		受電に向けて	
○	—	—	—			

ポイント

■受電日は工事全体工程の最重要ポイント日であることを認識

- ・受電不成立は許されません。緊張感を持って十分な準備を行いましょう。
- ・受電日までに必要な出来高があがっているか確認しましょう。
- ・受電日以降速やかに試運転調整に入る段取りはできているか確認しましょう。

■感電防止安全対策の実施

- ・受電後は活線作業となる可能性が生じます。安全作業を確保するため必要な対策を実施します。

■受変電設備の保護協調、各種試験検査実施済確認

- ・保護協調、励磁突入電流の確認
- ・耐压試験 絶縁試験
- ・リレー試験 総合連動試験

■受電時の遮断器、DS等投入手順の確認

- ・電気主任技術者、電力会社との確認打合せが必要です。



受変電設備の例

先輩アドバイス

- ・受電はどの現場でも全体の工事工程の重要なマイルストーンです。建築工事や機械設備工事もこの日を迎えるために必要な工事を実施し、この日から竣工に向かって残された仕事をどう進めて行くかが重要です。
- ・火入れ（電源ON）は大きな緊張を伴い異常が発生すれば一大事です。事前に出来ることをキチンと実施しましょう。

チェック項目

- 受変電設備の試験、検査項目と実施結果の確認はOKですか。
 - ・耐压試験、絶縁試験、リレー試験、総合連動試験、警報
- 保護協調と励磁突入電流検討状況の再確認はOKですか。
 - ・励磁突入電流で遮断器トリップした場合の対処法の確認
- 受電時の遮断器投入順序、感電防止安全対策、手順書の確認など、電気主任技術者との事前確認はOKですか。
- 電力会社との作業区分についての事前打合せはOKですか。
- 受変電設備内部の清掃、整線など実施状況はOKですか。



受変電設備内部の例

失敗すると...

- ・受電後の送電が遅れることにより、工事全体の試運転調整工程などに大きな影響を及ぼします。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
	○	—	○	○	—	—	—	—	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		